

(2023年5月1日号不登校新聞から)

## 新たな不登校対策(誰一人取り残されない学びの保障)3月31日文科省公表

文科省が誰一人取り残されない学びの保障対策「<sup>ココろ</sup>2030プラン」をまとめ、全国の教育委員会に通知しました。本プランの取り組みを通じて「不登校により、学びにアクセスできない子どもたちをゼロにすること」を目指しています。

そして不登校対策として、3つの提案をしています。

①不登校の児童生徒 全ての学びの場(学びではなく学びの場なので)を確保し、学びたいと思った時に学べる環境を整える。

- ・不登校特例校の設置促進(すでに全国に10校あるのですが、さらに増やす)
- ・校内教育センターの設置促進(学級ではなく別室、フリースクール的)
- ・教育センターの機能強化(空いている教員が入れ替わり担当が多い、専任はまだ少ない)
- ・多様な学び場、居場所の確保(フリースクールなど、民間との連携も)

(たくさん行ける子もいるが、行けない子多い)

②心の小さなSOSを見逃さず「チーム学校」で支援する

- ・1人1台の端末を活用した心身の変化の早期発見
- ・「チーム学校」による早期発見(発見という言葉が気になる、早く見つけらさないと来るの?)
- ・保護者への支援(支援とは具体的にどんなこと、毎日電話をかけるということ?)

③学校の風土の「見える化」を通して学校をみんなが安心して学べる場所にする

- ・学校の風土を「見える化」(具体的に何のこと?)
- ・いじめ等の問題行動への毅然とした対応 (今まではそうではなかったの?)
- ・児童生徒が主体的に参加した校則の見直しの推進 (個々の学校で進んで行くの?)

— 以上 —

以下に「不登校新聞」に載っていた解説について参考にしながら私の感想を書いてみます。(上記の不登校対策の提案について)で私のコメントを書きました。

先ず本プランの取り組みで「学びにアクセスできない子どもたちをゼロにする」という表現が気になります。前、岡山の中学校で「ゼロトレランス」という言葉で校則を厳しく守らせるといった実践がありました。ゼロトレランスとは0がXで理由は問わず約束は約束だという考えです。今の中学校の校則の底流を流れています。それは小学校も同じで学べる場所にとたくさんの校則があります。その校則は誰にとっての校則なのでしょう。少なくとも子どもにとって安心できる居場所にするためには、子どもたちと一緒にどうしたら考えていくことが必要だと思うのですが、学びにアクセスできない子どもたちをゼロにするという数値目標は必要ないのでは、それによって見えない校則を先生

のバの中につくりだすのではと心配になります。具体的な工夫の取り組みについて見ていきます。

①について 具体的に、不登校特例校の設置は広がっています。神奈川県には星槎学園があります。また、フリースクールの設置、学校、教育委員会と民間のNPOとの連携強化としていますが、フリースクールに行けない不登校の子どももたくさんいるのです。親の会との連携はできていません。

②について 一人1台の端末を活用して、子どもの体調の変化の早期発見を推進する。子どもの健康観察を端末で把握するとしていますが、機械で子どもの様子や気持ちを把握できるのでしょうか。不登校の子どもが毎日、自分の様子をインプットするのでしょうか。大阪の吹田市では「ディケン」というアプリを使って実施校では「不登校の出現が抑えられた」としてはいますが、不登校の子ども親の気持ちが本当に分かるのでしょうか。機械で人の気持ちを理解するということが、私には理解できません。学校に来させること、学びにアクセスできない子をゼロにするという不登校対策で端末を使うことで、本当の不登校対策になるとは思えません。もうひとつ「チーム学校」で支援するというのですが、これも支援ではなく、不登校にならないように学校全体で見えていくと聞こえるような気がします。そして、今は「チーム学校」ではなく「チーム学年」で不登校を出さないようにと目標にして、管理が強化されているように思うのですが、私だけでしょうか、不登校はますます増えていくのでは？

③ 学校の風土の「見える化」で「みんなが安心して学べる」場所にするとしていますが、「見える化」って何を指すのでしょうか。具体的には誰が何をやるのか逆に見えません。いじめは取りしまればしるほど地下にもぐり、見えなくなるのですが？

また、授業への満足度、先生への信頼度を数値化して学校運営の改善をはかり、子どもが安心できる学校づくりとしていますが、満足度や信頼度を子どものアンケートで数値化することで、本当に子どもたちは安心できるのでしょうか。数字で人の心が表わされると考えているのでしょうか。そのマイナス面のことを考えているのでしょうか。逆に安心できないクラスになるのではと思うのですが!!

この不登校対策で本当に子どもたちは安心して学べるようになるのでしょうか。外側のシステムだけでは、不登校はなくなるわけではありません。子どもたちは「今の学校」のいろいろなことの中で、学校へ行けなくなっているのです。生きづらいのです。「今の学校」で何が生きづらいのか。学びとは何かを問い直すことが必要だと思います。